

# 「学び合い・教え合い・励まし合い」を大切にした ～運動好きな子どもの育成～

大分県杵築市立杵築小学校

全校児童数	482名(男子247名 女子235名)		
全クラス数	20	教職員数	47名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	杵築市立八坂小学校		
体育専科教員名			高井 克己

## Plan：取組時の課題と計画

### 1 取組時の課題

- ◇全体的に体力は向上してきているが、学年や男女、調査項目別によっては課題（体力差）がみられる。
- ◇一昨年度の体力・運動能力の調査から「シャトルラン」「上体おこし」「ボール投げ」に課題がある。
- ◇休み時間に外で遊ぶ子どもは多いが、固定されている。
- ◇全体的には運動好きな子どもは多いが、学年や男女によっては差がみられる。

### 2 取組の計画

- ① 体育授業、体育活動の充実
  - ・運動好きな子どもの育成をめざした楽しい授業の工夫
  - ・授業前のサーキットトレーニング（1校1実践）の実施と準備運動後の補助運動の実施
  - ・授業のパターン化、児童の主体的な学習、場の設定と工夫（運動量の確保）
  - ・学級（クラスルームトレーニング）、児童会活動や委員会活動（体育活動や遊び、レク活動）の活用
- ② 体育環境の充実
  - ・運動場や体育館の整備及び各倉庫の整理
  - ・用具の点検、作成、補充
  - ・掲示による意識化
- ③ 基本的な生活習慣の確立
  - ・早寝、早起き、朝ご飯の推進と生活リズムチェック（ハンカチチェック）の実施

## Do：実践内容

### 1 体育授業、行事、体力向上等の取組の充実

- ・学級担任とのTT指導できめ細やかで個に応じた効果的な指導、そして、安全面の配慮（コロナ感染防止、運動の苦手な子どもや支援の必要な子ども）
- ・授業のパターン化による見通しをもった学習と主体的な学習（めあてと振り返り、運動量の確保）
- ・子どもの実態に応じた教材や場の工夫や準備
- ・单元ごとにおいて主運動につながる補助運動の実施
- ・子どもたちの「学び合い・教え合い・励まし合い」の時間や場の設定
- ・体力・運動能力調査における課題解決に向けたなわとび週間、なわとび大会の開催（健康推進部）
- ・クラスルームトレーニングの取組
- ・体育委員会活動の取組（1校1実践サーキット、体育の授業、外遊びなどの各動画作成）
- ・雨の日の体育館使用1クラスのみ（3密回避）

## 2 体育環境の充実

- ① 運動場や砂場の整備、体育館や体育倉庫の用具整理整頓、点検、補充
- ② サーキットトレーニングの変更、内容表示
- ③ 教材教具の工夫、作成
- ④ 体育授業で使用する用具、器具の準備、片付け

## 3 基本的な生活習慣の確立

- ① 「早寝早起き」の指導の継続徹底と食育授業の実施
- ② 生活リズムチェック（ハンカチチェック）の実施および分析（健康推進部）

## ●工夫したこと（&苦勞した点）

- ① コロナ禍をふまえた体育授業をより楽しいものにする工夫として、用具の工夫や場の設定などを中心として授業改善を図った。
- ② 体力・運動能力調査に向けた取組。（各項目のポイントの共通理解や数値目標の提示）
- ③ 大型モニターを体育館に移動し、運動のポイントとふり返りの確認に活用した。
- ④ 訪問校において、事前の授業内容の確認、授業後のふり返りと次時の授業内容等の打ち合わせを行った。
- ⑤ 体力・運動能力調査結果の分析と今後の取組。

## Check：取組の成果

- ① 体育の授業が好きな子どもの割合が増えた。授業をパターン化することにより、子どもたちが授業の流れを把握し、見通しをもって主体的に取り組むことができ、運動量の確保と自主性が育っている。
- ② 体力・運動能力調査において、全国平均値を上回る項目数が増えた。（75/96→84/96）
- ③ TT体制の指導により、一人ひとりにきめ細やかな指導、また、場の設定（スムーズな用具の準備、片付け等）が図られている。

## Action：今後の課題

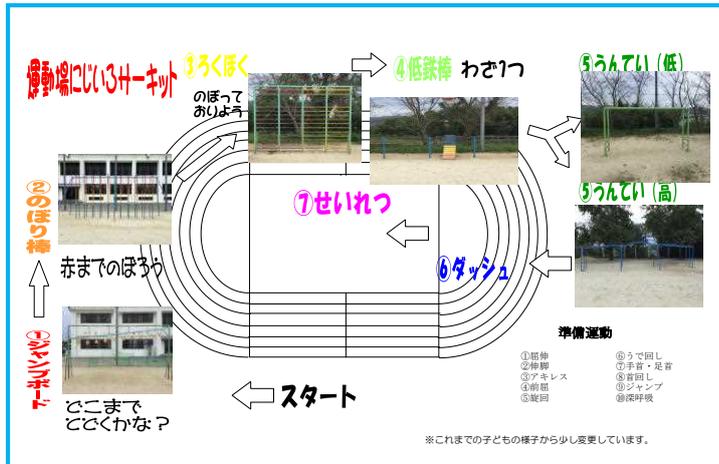
- ① コロナ禍をふまえた運動面や健康面を考えた取組について更なる工夫が必要である。
- ② TT指導の効果的な指導、役割分担のあり方はどうあるべきかを今後も工夫していきたい。

## ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

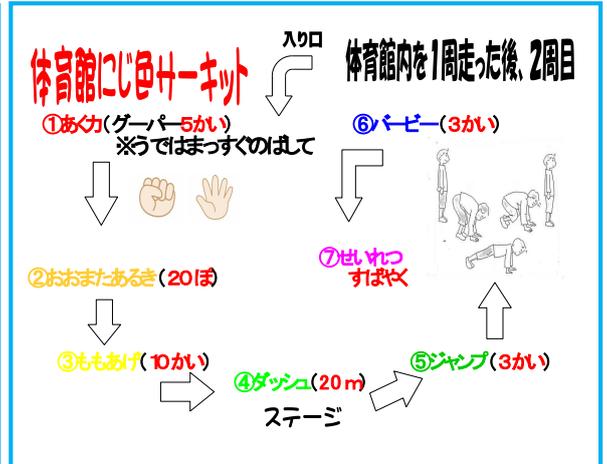
- ・健康な体、元気でやる気に満ちた児童の育成
- ・運動の楽しさを知り、達成感を味わい、自信をもって頑張ろうとする児童の育成
- ・コミュニケーションを図り、協力する児童の育成
- ・規律、節度をもった児童の育成

### 〈 授業前のサーキットトレーニング 〉

(運動場でのサーキット)



(体育館でのサーキット)



### 〈 実践事例 〉

(公開授業)

○期日 令和3年11月26日(金) 第1回公開授業 第6学年「ボール運動:ソフトバレーボール」

#### ①指導法の工夫(単元計画、ルール、場の工夫等)

- ・学習計画の提示 ラリーゲーム(はじめの段階)→対抗ゲーム(少し進んだ段階)
- ・事前アンケートの実施→ルールの工夫(全員が必ずボールにさわると)
- ・全体練習(技能の定着)とチーム練習(チームの特徴を生かしたため)の時間確保

#### ②ICTの活用

- ・ボールをつなぐポイントを意識した練習がゲームで生かされているか確認
- ・チームごとに確認しながら学び合い、励まし合い



○期日 令和4年1月27日(木) 第2回公開授業 第5学年「陸上運動:ハードル走」

#### ①指導法の工夫(単元計画)

- ・リズムカルにハードルを乗り越えよう→記録に挑戦しよう(つかむ・やってみる) (高める)
- ・ペア、グループ活動で学び合いを中心とした主体的、協働的学習

#### ②ICTの活用

- ・リズムカルな動き(ふりあげ足、3歩のリズム等)をグループで確認しながら学び合い、励まし合い

(なわとびタイム期間・なわとび大会)

○期間 令和4年1月17日(月)～1月21日(金) (なわとびタイム期間) 全校(中休みに実施)

令和4年1月24日(月)～1月28日(金) (なわとび大会期間) 各学年で実施

①なわとびタイムは、曲にあわせて、リズムとびをする。(技11、各学年で選択しても可)

②なわとび大会は、各学年で大会期間中に実施する。